

令和8年度シラバス（地理歴史）

学番 28 新潟県立村上高等学校

教科(科目)	地理歴史（歴史総合）	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年（普通科）
使用教科書	山川出版社『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』				
副教材等	山川出版社『現代の歴史総合 みる・読みとく・考えるノート』 山川出版社『歴史総合基本用語問題集 ツインズマスター』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①未知のものに勇気をもって向き合い、謙虚に、かつ、意欲的に学ぶ生徒の育成を行います。 ②他者への配慮と心のこもった挨拶や振る舞い方を身に付け、思いやりをもって他者に接することにより、真に信頼される生徒を育成します。 ③学校生活の様々な機会を通じて心と体を鍛え、自分の将来の目標に向け、覚悟をもって努力する生徒を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①生徒一人ひとりの学力を高めるために、基礎的な学習の繰り返しのより知識の定着を図る指導を行います。 ②確かな学力に基づく問題解決力と判断力を身に付けさせるために、教科横断的な探究学習を行います。 ③専門分野に対する深い理解をもった職員が、質の高い授業を行い、学ぶことの面白さと喜びを伝えながら、生徒の教養を高めます。

2 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 指導の重点

①基本的な事項・事柄を精選し、生徒の理解力や興味・関心を考慮した指導内容を構成する。 ②中学までの学習内容や地理総合での学習内容と関連付け、地図や資料を多く活用しながら授業を展開していく。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、定期考査 小テストなどから、評価します。	以上の観点を踏まえ、定期考査 レポートなどから、評価します。	以上の観点を踏まえ、レポート、課題、作業プリントなどから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	世界のつながり	教科書 デジタル教材	18世紀以前の時代の世界のつながりの概観を確認し、その後の学習につなげる。生徒の実態にあわせ、中学校までの学習を補完したり、世界の状況を把握・理解するために活用する。	1	定期考査 レポート 作業プリント
4 5	歴史の扉	教科書 デジタル教材	①身近な事柄が、時間的な推移や空間的な結びつきのなかで歴史と結びつきをもっていることを理解する。 ②私たちの生活に関わる制度や習慣について分析する際に、歴史的に構築されていることをふまえることが大切であることを理解する。	1	定期考査 レポート 作業プリント
5 6	結びつく世界と日本の開国	教科書 デジタル教材	①アジア域内貿易がどのようにおこなわれていたかを理解する。 ②欧米諸国が東アジアに勢力を拡大した理由と、開港場の増加や貿易制限の緩和など中国の外交政策の転換について理解する。 ③日本でも「鎖国」政策の転換をせまられ、貿易の開始がその後の政治に与えた影響について理解する。 ④中国の開港・日本の開国と産業革命との関係、および従来の東アジア地域間の貿易や人・情報の流れの変容について考察する。	5	定期考査 レポート 作業プリント
6 7	国民国家と明治維新	教科書 デジタル教材	①欧米各国の国民国家の成り立ちと特徴について身分制国家などと対比して理解する。 ②日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などをもとに、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ③明治維新後の日本が、外交交渉を通して、主権国家、国民国家の形成をめざしたことについて理解する。	11	レポート 作業プリント
8 9 10	総力戦と社会運動	教科書 デジタル教材	①第一次世界大戦の展開、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭について理解する。 ②大戦後の国際協調体制、世界経済の変容とアジアのナショナリズムの動向、大衆の政治参加と大衆消費文化の形成を理解する。 ③総力戦としての大戦の特徴と惨禍、戦後の国際協調体制の成立と限界について理解を深める。 ④戦後、世界的に見られた社会や経済の変容とデモクラシーや社会運動、大衆消費文化について理解する。	11	レポート 作業プリント
10 11	経済危機と第二次世界大戦	教科書 デジタル教材	①第二次世界大戦が起こった背景や日本を含む諸国・諸地域間の動向とその関係を様々な視点から捉えつつ、国際協調体制の動揺の要因や大戦の性格と惨禍、大戦下の社会状況と人々の生活を理解する。 ②占領と戦後改革について、ドイツと日本の事例を比較しながら、その特徴と展開を冷戦体制の文脈に位置づけて理解する。 ③日本国憲法の成立について、その経緯を理解するとともに、日本の政治や社会への影響を諸資料を用いて説明できるようにする。 ④米・英・ソの関係はどのように変容し、またそのなかで世界の分断はどのように表面化し、進んだのかに着目して、冷戦がどのように表面化したのか、またその特徴はどのような物であったのかを理解する。 ⑤第二次世界大戦後の国際秩序と関連づけながら日本の国際社会への復帰の経緯を理解する。 ⑥冷戦の経緯から日本に期待された役割や、アメリカ合衆国がおこなった政策の意味を理解する。 ⑦独立の経緯から、その後の日本に残された課題について理解する。	13	定期考査 レポート 作業プリント

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
12 1	冷戦と世界経済	教科書 デジタル教材	①1950年代から60年代にかけての時期に、植民地からの独立と地域紛争が東西対立とどのように関連していったかを理解する。 ②東西両陣営の社会がどのように変容したのかを、西側諸国の関係やソ連の東ヨーロッパ諸国に対する影響力などを通じて理解する。 ③1960年代、人々は何をめざしてどのような運動を展開したのかについて理解する。 ④反核・平和運動の始まりとデタント政策の展開と影響について理解する。 ⑤地域統合の進展と社会主義諸国の動向について理解する。 ⑥高度経済成長が進む日本とアジアとの関係がどのように結ばれていったか理解する。	10	レポート 作業プリント
2 3	世界秩序の変容と日本	教科書 デジタル教材	①石油危機が世界や日本の社会・経済にどのような影響を与えたかを理解する。 ②20世紀のアジア経済の発展の背景を理解する。 ③経済のグローバル化が世界と日本に与えた影響について理解する。 ④1990年代後半に本格化した情報技術革命が世界に与えた影響について理解する。 ⑤冷戦の終結の背景とその影響について理解する。 ⑥今日のアジア・アフリカの現状と課題について理解する。	12	定期考査 レポート 作業プリント

計 64 時間（55 分授業）

7 課題・提出物等

授業時の作業プリントやレポート・課題等を作成・提出してもらいます。

8 担当者からの一言

近現代史を中心に、2つの世界大戦および大戦後の世界について、日本と世界の関わりの中で考えていく。特に近年の日本とアジア諸国との関係がより一層深まっている現状と、それまでに至る歴史を考察していくことができればと考えている。